

LAMP® 垂直収納扉用レールセット TSSL-2V (中量扉用) 取付説明書

このたびは、弊社製品をお買い上げ頂き誠に有難うございます。不適切な取り付けや操作は、本品の性能を発揮できないばかりか、思わぬ人身事故につながる危険がありますので、本書をよくお読みのうえ正しく施工してください。取付後は本書を保管してください。

■取付作業前によくお読みください。

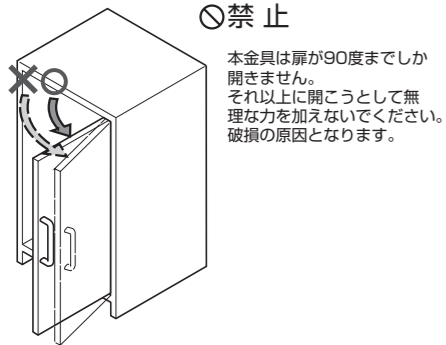
- ・本品は以下の注意事項を守ってご使用ください。
- ・本品は家具等の垂直収納扉用レールセットです。本来の使用目的とは異なる使用方法や、使用範囲以外の扉に使用した事が原因による事故等に付きましては、その責任を一切負いかねますのでご了承ください。
- ・改良等により、予告なく寸法、仕様が変わることがありますので、詳細は現品にてご確認ください。

⚠ 注意 この表示を無視、あるいは注意事項を守らないで使用した場合、正しい組み立てが出来ない事や、事故等によりケガを負う可能性があることを示しています。

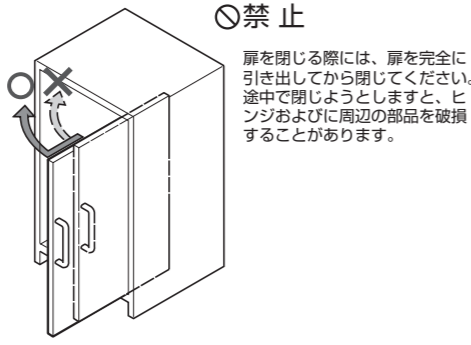
❗ 必ず行う ・取付完成後、キャビネット移動時には、必ず扉を外してください。扉はキャビネットのセット時に現場で取り付けてください。

❗ 必ず行う ・本品は使用している間に内部レールのズレにより、扉の移動距離が変わる場合があります。その際には、扉を収納時に完全に奥に押し込むか、あるいは、扉を完全に引き出してズレを修正してください。また、性能を持続させるために、時々各部の取付ねじの緩みがあれば増し締めしてください。

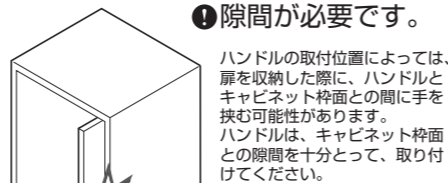
⊘ 禁止



⊘ 禁止



❗ 隙間が必要です。

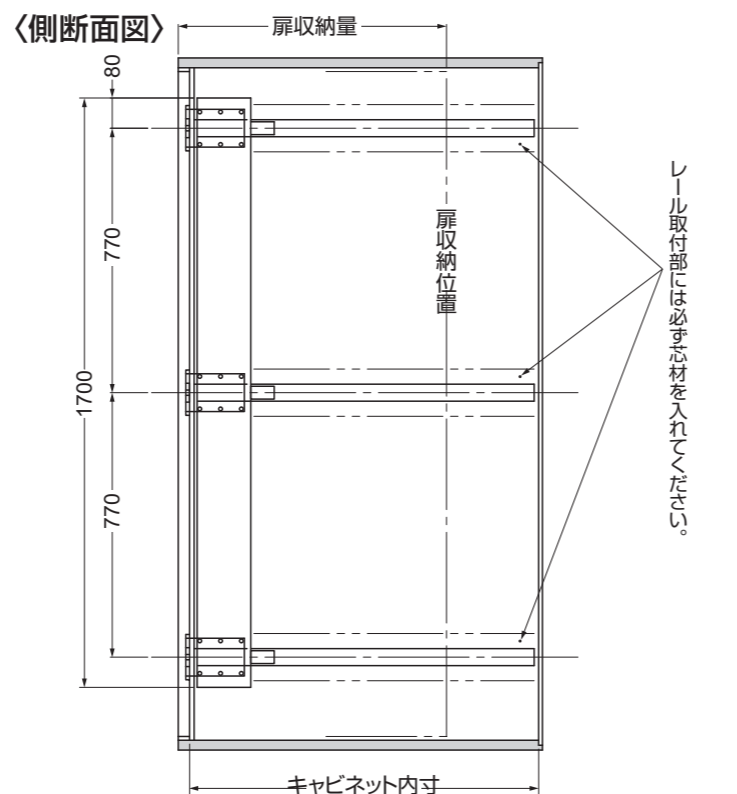
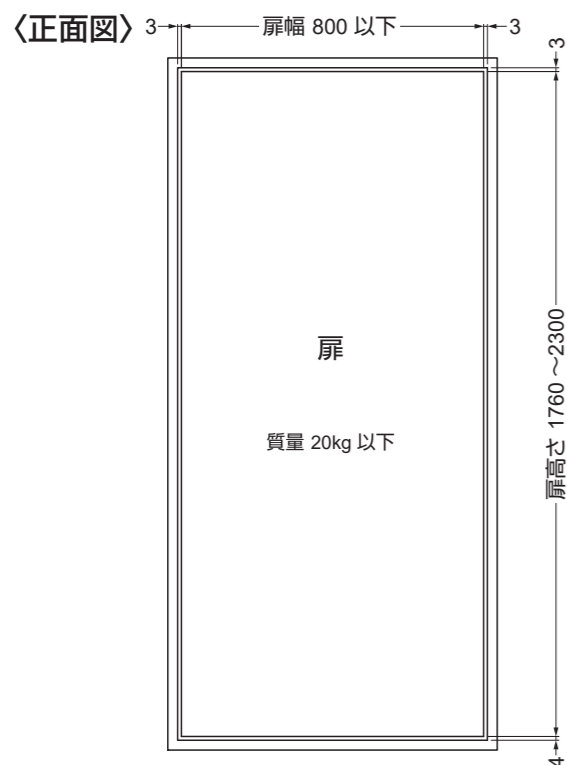


■キャビネットの設計および扉の加工寸法

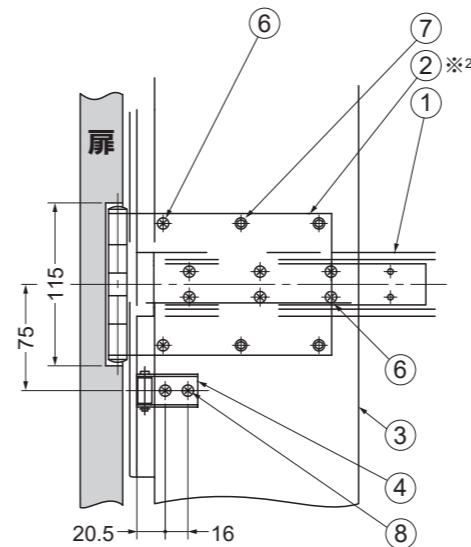
TSSL-2V

扉高さ 1760mm~2300mm
扉幅 800mm 以下
扉質量 20kg 以下

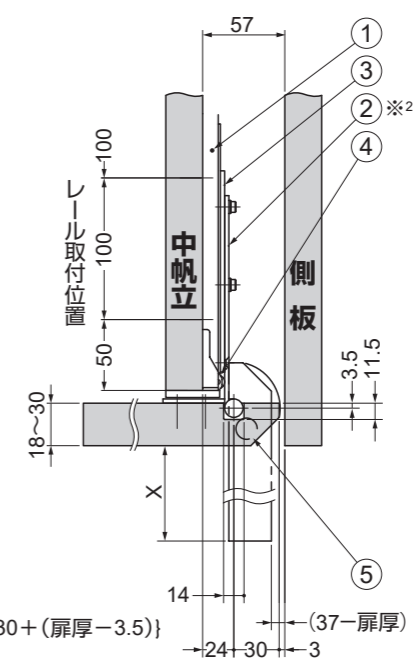
品番	扉収納量	キャビネット内寸 (扉内側より)
TSSL-600SV	376+(扉厚-3.5)+30	620 以上
TSSL-800SV	576+(扉厚-3.5)+30	820 以上
TSSL-900SV	676+(扉厚-3.5)+30	920 以上



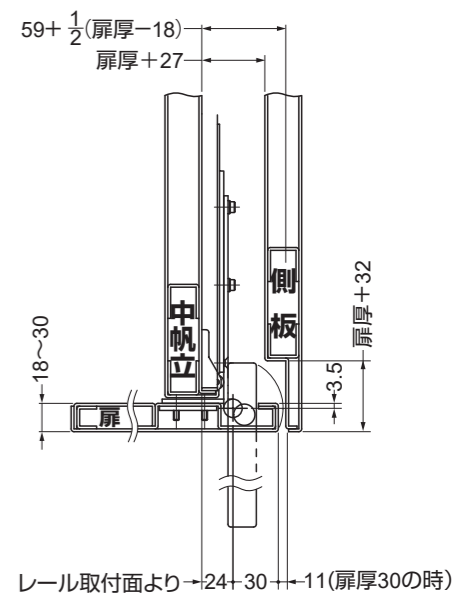
〈側面図_木製扉仕様〉



〈平面図_木製扉仕様〉



〈平面図_スチール扉仕様〉

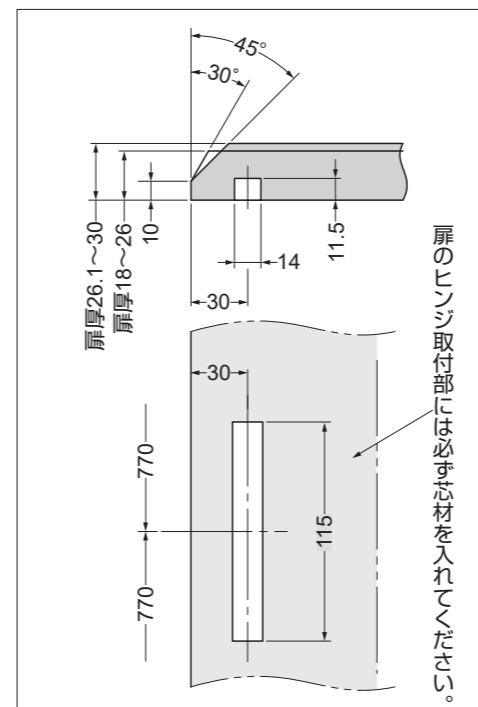


No	部品名	個数/組
①	レール L=600, 800, 900	3
②	ヒンジ ※2	3
③	運動板	1
④	当たり止め	3
⑤	F型スベリ鉄	1
⑥	十字穴付皿ねじ M4×8	24

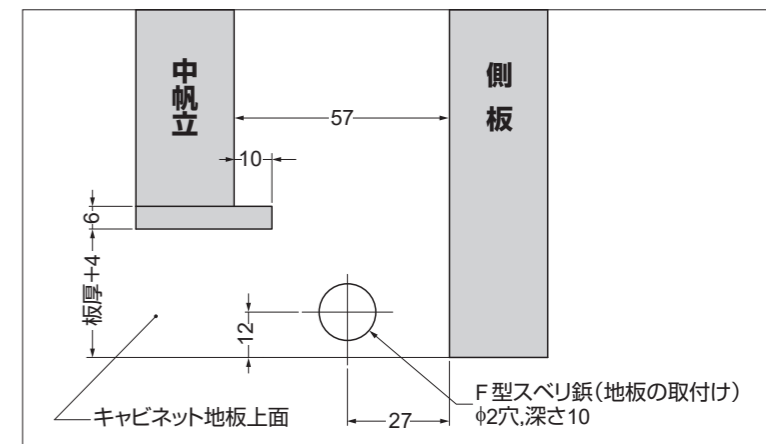
No	部品名	個数/組
⑦	座付六角穴付ボルト M4×8	12
⑧	十字穴付バインドタッピンねじ 3.5×15	※1
⑨	六角レンチ	1

※1 600SV は 36 個、800SV は 48 個、900SV は 54 個入っています。
※2 ヒンジの扉取付用ねじは付属されておりません。取付ねじは、別途ご用意ください。
(推奨ねじサイズ: 皿タッピンねじ 4×27)

〈扉吊元部の加工寸法〉



〈キャビネット吊元部の加工寸法〉



- スライドレールの取り付けについて
- ・各レールは必ず平行になるようにセットしてください。
 - ・スライドレールをキャビネットセンターより上部に取り付けた方が強度的に有利になります。
 - ・取付手順については、裏面をお読みください。

本製品に関するご質問・ご相談は、
ご購入先の販売店 へのお問い合わせを推奨しております。

※弊社は代理店販売をメインとしておりますので、販売代理店へ先ずお問い合わせいただく事が、スムーズな対応にもなります。

SUGATSUNE スガツネ工業
LAMP 印の機能&デザイン金物メーカー

TEL:03-3864-1122(代) 平日9:00~17:30
E-mail: support@sugatsune.co.jp

■組立手順

1

レールを中帆立の指定位置に穴 A・B (両端) 2箇所のみ付属の⑧バインドタッピンねじ 3.5×15 で仮止めします。仮止めレールがガタ付かない程度に締め込みます。各レールは平行になるようにセットしてください。

2

連動板を付属の⑥皿小ねじ M4×8でレールにしっかり固定します。取り付け終わったら、3箇所(計18本)全ての取り付けねじの締め込みを確認してください。(次の3、4の手順は各レール、および連動板を正しい位置に固定するための作業です。)

3

連動板を手で持ち、前後両端まで動かし平行、且つ滑らかに動くようにレールのねじゆるめて、再度締め付けて位置を調整します。(連動板は、レールの両端までしっかりと動かしてください。)

4

スムーズに動くようであれば各レールの穴 A、B に仮止めしたねじを十分に締め込みます。次に、再度連動板の動きを確認しスムーズであれば次の手順に進んでください。もし動きが悪い場合は3の手順からやり直してください。

5

レールの残りの取付穴を、全て付属の⑧バインドタッピンねじ 3.5×15 でしっかり固定してください。(取り付け不可能な所が数箇所生じます) 最後にレール取付ねじと同時に連動板の取付ねじが、十分締め込まれていることを確認してください。

6

当たり止めは、レール前方端部の指定位置に付属の⑧バインドタッピンねじ 3.5×15 で固定します。取付位置はレールに対して上下どちらでもかまいません。(裏面_側面図参照) 上記図は中帆立へのパーツが全て取り付けられた状態です。

7

全パーツが取り付けられた中帆立を、キャビネットに押し込み仮のセットをします。中帆立は全て押し込まず、連動板にヒンジを取り付けられる程度残します。(図3参照)

8

※ヒンジ取付ねじは付属されておりませんので別途ご用意ください。
〈推奨ねじサイズ：十字穴付皿タッピンねじ4×20〉

扉の指定位置にヒンジ取付用穴(裏面_扉吊元部の加工寸法参照)を加工しヒンジを取り付けます。ヒンジには調整機能が付いておりません。ヒンジ取付穴の加工をする際には、芯材が入っている事および扉セット時の目地などを十分確認した後に行ってください。

9

地板の指定位置にF型スベリ鋸用穴φ2キリ穴深さ10を開けF型スベリ鋸を押し込みます。押し込む際は、スベリ鋸の押し込み部が細いため、折らないように注意してください。

10

扉に取り付けたヒンジを、付属の⑦座付ボルト M4×8と、⑥皿小ねじ M4×8 とで連動板に固定します。最後に各取付ねじの締め込みを確認してください。(図3参照)

11

※中帆立の取付ねじは付属されておりませんので別途ご用意ください。

中帆立をキャビネットの奥に押し込み、中帆立の側面から上下共、ガイド用角材に十字穴付皿タッピンねじで固定します。中帆立を固定する際は、水平もしくは手前を上げた状態で固定してください。(図3、4参照)

図1

扉セット前の連動板は、各レールに対して垂直の位置にセットされていますが、扉の荷重が加わると連動板が図1のように傾きます。これが扉のたれ下がりとなります。これを修正する場合は、次の手順に従って行ってください。

図2

まず、ヒンジ取付用の六角穴付ボルトおよび、皿ねじをゆるめます。次に、図2のように扉を逆に傾けた状態で六角穴付ボルト、皿ねじの順で締め込みます。最後に全てのねじが締め込まれていることを確認してください。この方法で若干の修正が可能です。

図3 中帆立の推奨取付方法

- ・施工後の調整を容易に行なうために、中帆立は取り外しできる構造にしてください。
- ・中帆立を固定する場合は、釘および接着材などを使用せず、木ねじを使用してください。
- ・中帆立の構造が取り外しできない場合は、側板を取り外しできる構造にしてください。

キャビネットの天板、地板、背板内側にガイド用角材固定

図4 中帆立は側面より木ねじで固定

※中帆立の取付ねじおよび、ガイド用角材の取付ねじは付属しておりませんので、別途ご用意ください。